

教案：食事のしかたを考えてみよう

1. 目的、ねらい 食事はだれでも毎日することだけに、文化の違いを目にすることが多い。留学生が日本社会で日本人と食事したとき、彼らが恥をかかないように、余計な摩擦を起こさないように、してはいけないこと、しなければならないことを認識させる。
2. 解説と授業の展開 このテーマでは、分かりやすくするため、小皿(取り皿)、大皿、箸(取り箸用も)、茶碗、お椀などを用意し実際に教員がやる、学生にやらせるのが一番の近道。

(1) 中国と日本の食事に関する違い

- 1) 食前、食後の挨拶の言葉 「いただきます」「ごちそうさまでした」

「いただきます」の意味は? もらいます。では何をもらうのか? だれからもらうのか? 肉を食べるときは、その動物の命をもらっている。お米や野菜を食べるときもその植物の命をもらっているということ。それをよく考えて感謝の気持ちを込めて食事の前に「いただきます」と言う。

「ごちそうさま」…食事を終えるとき、これで終わります。ありがたいの意で言う。日本人は何かにつけて「はじめ」を大切にする。始めと終り、これをきちんとさせる意味もある。

- 2) お箸の置きかた → どうして中国では縦、日本では横?? 確実に違うのがお箸の置きかた。中国では相手に向かって縦に、日本人は横、並行に置く。なぜ違う

のか? ヒントはお箸の先の形。中国の場合は丸まっている、日本の場合は尖っている。尖っている箸の先を相手に向けるのは失礼に当たる。つまり中国人学生は母国の習慣どおりでいくと日本でお箸を縦に置いて相手に箸先を向けることになってしまう。これはいけないことを強調する。中国の箸は先が丸まっていて縦に置くのは文字通り相手とのブリッジ(橋)になっているという説もあり。

- 3) 残さず、最後まで食べるのが大切です。食べ放題、バイキングなどのとき、残すのは良くない! 食べられる量だけを考えてお皿にとること。「もったいない」という言葉を教える。
- 4) 日本では料理は一人分ずつ皿に盛り付けられる。中国ではだいたい大皿に盛られる。→日本では大皿に盛られた料理は、取り箸で各自の取り皿にとって食べます。

今回きちんと認識してもらいたいことの最大の事柄。中国も韓国も大皿で盛ってある料理を自分の箸でとって食べるのが普通。「取り箸」という概念がない? スー。や鍋物などもめいめいの箸を突っ込んで食べる、日本人からすれば気持ち悪いが、むしろ向こうでは親密さを表す表現となっている。留学生が気をつけなければならないのは、日本では日本人は取り箸、取り皿を使う習慣があることをきちんと知っておくこと、それを実践すること。

(2) 日本人が気にする食事のマナー

- 1) 絶対に皿に口をつけません。汁物だけは口をつけてもいいです。
- 2) 日本では茶碗は持って食べる、韓国は逆。お皿についてはもたずに食べるのが普通。そしてお皿には口をつけない。みそ汁などの汁物だけは器を持って口をつけて食べる。
- 3) 口から出したものを人目につくところに置いてはいけません。相手に見えないようにお皿の隅に置きます。ティッシュなどで隠すのもいいです。
- 4) 箸の使い方 いけないこと 迷い箸、箸から箸に食べ物を渡す
- 5) 迷い箸については、箸を使って実際にやって見せる。箸から箸に渡すのがいけないことは人が死んで骨を拾うときのことを話す。

(3) 食事の前に

- 1) 日本と中国とでは「乾杯」の意味が違う!中国では乾杯を何度も何度もする。一人で何人もの人を入れ替わり立ち代り相手にしなければならないことも多い。しかし、日本では乾杯は原則1回だけ、しかも皆一緒というのがポイントとなっている。よくある留学生の間違ひは、まだ乾杯をしていないのに飲み始める、食べ始めること、その場の主賓が来て乾杯の音頭をとってから食事が始まることを理解させる。中国では乾杯 = 一気飲みの感があるが、日本で日本人相手にはしないほうが無難である。

(4) 食事の後で

- 1) 「飲み残し」の缶やビン、志パックを捨てる時 留学生によくある間違ひは飲み残しがある缶やビンの飲み物をそのままゴミ箱に捨ててしまうこと。飲み残しを洗面所等に流してから、空き缶、空きビンの状態にしてから捨てることを徹底させたい。燃えるゴミ、燃えないゴミの分別の前に「飲み残し」のままではいけないことを理解させる。
- 2) ラーメンの汁などが残っているとき飲み物同様、よくある間違ひはカッ。ラーメン等を食べたあと、スー。や麺が残っていてもそのままゴミ箱に捨ててしまうこと。本校ではディスプレイがあるの、そこに捨てることを徹底する。ラーメンなどは、飲み物などとは違って、においの問題もあるので確実にディスプレイに捨てさせる。

食事のしかたを考えてみよう

(1) 中国と日本の食事に関する違い

1) 食前、食後の挨拶の言葉

「いただきます」「ごちそうさまでした」

2) お箸の置きかた

→ どうして中国では縦、日本では横??

3) 残さず、最後まで食べるのが大切です。

→ 食べ放題、バイキングなどのとき、残すのは良くない!

4) 日本では料理は一人分ずつ皿に盛り付けられる。

中国ではだいたい大皿に盛られる。

→ 日本では大皿に盛られた料理は、取り箸で各自の取り皿にとって食べます。

(2) 日本人が気にする食事のマナー

1) 絶対に皿に口をつけません。汁ものだけは口をつけてもいいです。

2) 口から出したものを人目につくところには置いてはいけません。

→ 相手に見えないようにお皿の隅に置きます。ティッシュなどで隠すのもいいです。

3) 箸の使い方

いけないこと———迷い箸、箸から箸に食べ物を渡す

(3) 食事の前に

1) 日本と中国とでは「乾杯」の意味が違う!

(4) 食事の後で

1) 「飲み残し」の缶やビン、紙パックを捨てる時

2) ラーメンの汁などが残っている時

以上